

# 長命ヶ丘地区社協だより

令和 5 年 10 月 発行

長命ヶ丘地区社会福祉協議会

発責:秋保 明

文責:佐藤正人

## 令和 5 年度 定時総会開催しました

5 月 16 日(火) 令和 5 年度定時総会を開催致しました。今年度は新型コロナウイルス感染症の 5 類移行をふまえて 4 年ぶりに対面方式とし、理事・評議員の方々多数ご出席頂き開催することが出来ました。会議では顧問の小林小学校長様と菅原長命ヶ丘地域包括支援センター所長様よりご挨拶をいただき、また「子ども食堂 Kosune(コスネ)」橘代表様より事業紹介がありました。

議案はすべてご承認いただきましたが、役員一同事業計画に沿って進めて参りますので、皆様のご支援並びにご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 研修会兼推進会議を開催しました

6 月 10 日(土)、令和 5 年度研修会兼第一回推進会議を開催致しました。研修は①「長命ヶ丘地域の高齢化の状況及び介護保険制度について」長命ヶ丘地域包括支援センター市川奈津子氏より、多くの資料を基に具体的に高齢化の状況と介護保険制度についてわかりやすくご説明をいただきました。

次に、②「支えあいと思いやりでつながる地域づくり」として、仙台白百合女子大学人間学部准教授 志水田鶴子氏より、高齢者の健康づくりにとって地域とつながることや、高齢化を嘆くのではなく住民の知恵を活かして集いの場をつくる大切であることなどを、野菜作りを通じた地域づくりの事例紹介も交えながら熱意のこもったご講話をいただきました。

両氏のお話から改めて地域での支え合いやサロン活動の大切さを学び直すことが出来ました。



講師:市川奈津子氏



講師:志水田鶴子氏

## 地域福祉活動支援団体のご紹介

**社協は地域活動を  
応援しています!!**

(福祉事業振興助成金)

### 「社協助成金の行方は・・・」

ロングライフヒルコミュニティ協議会 代表 佐藤 健一

記録的な猛暑も影を潜め、秋の夜長の時季となりましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。

ところで皆さんは「学校に泊まろう」って聞いたことがありますか？

7月22日・23日、長命ヶ丘小学校を会場に開催した「学校に泊まろう」は平成25年度から開催していて、今年はプールで中高生のお兄さんお姉さんと遊び、温泉のお湯が入ったドラム缶風呂（お湯は秋保温泉佐勘から提供）を楽しみ、子ども達が作ったカレーをジップロックで炊いたご飯にかけて食べ、真っ暗な夜の学校を探検し、仲良しの友達の側でワクワクしながら眠りにつきました。

そして、2日目は元バスケットボール全日本代表選手の阿部理（おさむ）氏による「ボールで遊ぼう」を楽しみ、2日間に渡るイベント会場には笑顔の花がたくさん咲いていました。

なお、このイベントの様子は8月8日夕方に仙台放送でその様子が放送されたのでご存じの方もいらっしゃると思いますが、実は平成29年度からは社会福祉協議会の助成金を活用して開催しています。

最後になりますが、ロングライフヒルコミュニティ協議会という団体（長命ヶ丘おやじの会が事務局を担っています）は、商店会や小中学校、小中のPTA、育成会、泉館山高校、市民センターの各団体が連携していて、地域の子どもの笑顔のために今後も各種事業を行っていきます。



### 多世代交流グラウンド・ゴルフ大会

長命ヶ丘学区民体育振興会 会長 久水 敏司

日の光も青く、心配していた天候にも恵まれ、絶好のスポーツ日和の6月4日の日曜日、「ワァーまた入ったすご〜いホールインワンだ」、「りく君思い切って強く打つのよ」、「ユイちゃ〜んママのこっちに打つのよ」、長命ヶ丘小学校の校庭に、子供たちと、お母さん、お父さん、お婆ちゃん、お爺ちゃんの大きな声が響きます。子供たちのボールを打つことに集中している姿を見てみると、私たち大人のスコアの悪さを、ボール、クラブのせいにして自分の腕の悪さを忘れていた恥ずかしさも見えてきます。

今年度の親子スポーツ大会は「福祉事業振興助成金」を活用しての、スポーツを介して世代を超えた交流を図り、地域の活性化や関係団体の連携を促進し、地域力・住民力を高めるべく開催致しました。お陰様で予定の120名をはるかに超える参加者があり大盛況のうちに終わることが出来ました。

このスポーツは腕がすべてではありません。「トマリ」の神のさじ加減で天国と、地獄を味わいます。腕が50%、運が50%のスポーツです。

次年度も、今年度の運営方法の反省点を見直して開催すべく、今から準備を進めて参りますので、宜しくご協力の程お願い申し上げます。

